

様式第 4 の二（第 4 条、第 5 条関係）

屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所 構 造 設 備 明 細 書

事 業 の 概 要							
タ 室 ン の ク 構 造 専 用	壁	延焼のおそれ のある外壁			床		
		その他の壁			出入口	(しきいの高さ cm)	
	屋 根				その他		
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階 数		設置階		建築面積	m ²
		建築物の構造概要					
タ ン ク の 構 造 ・ 設 備	形 状				常 圧 ・ 加 圧 (kPa)		
	寸 法				容 量		
	材 質 、 板 厚						
	通 気 管	種 別		数	内 径 又 は 作 動 圧		
					mm kPa		
	安 全 装 置	種 別		数	作 動 圧		
					kPa		
	液量表示装置				引火防止装置	有 ・ 無	
注 入 口 の 位 置					注 入 口 付 近 の 接 地 電 極	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要							
採 光 、 照 明 設 備				換 気 、 排 出 の 設 備			
配 管							
消 火 設 備				警 報 設 備			
工 事 請 負 者 住 所 氏 名		電 話					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。